

ボランティアだより

【すみだボランティアセンター】墨田区東向島 2-17-14

TEL:03 (3612) 2940 FAX:03 (3610) 0294 E-mail vc@sumida-shakyo.or.jp

【すみだボランティアセンター分館】墨田区亀沢 3-20-11 関根ビル 4 階

TEL:03 (5608) 2940 FAX:03 (5608) 2944 E-mail bunkan@sumida-shakyo.or.jp

謹賀新年

昨年は、平昌で冬季五輪が開催され、日本は過去最高の 13 個のメダルを獲得しました。羽生選手の 66 年ぶりフィギュア五輪連覇や女子カーリングチームに注目が集まりました。中継から聞こえてきた「そだねー」は、平成 30 年の流行語大賞になりました。そして、夏には東京オリンピック・パラリンピックの開催 2 年前カウントダウンイベントが区内でも行われました。

一方、記録的な大雪や寒波、史上最速の梅雨明け、西日本豪雨、災害級の猛暑などの異常気象や大阪北部地震、北海道胆振東部地震、台風直撃による広域被害など、自然災害も多い年でした。

このような年だったこともあり、今年の新年交流会は、趣向を変え、災害時の知識を深める会といたしました。また、下記体験型の災害ボランティア講座を企画しています。

本年も当センターはボランティア活動の一層の充実拡大を図るため努めてまいりますので、皆さまの益々のご支援・ご協力をよろしく願っています。

平成 31 年 元旦
すみだボランティアセンター

職員一同



～災害ボランティア講座～

「災害時の知識を身につけよう！」

今回の講座では、昨年に引き続き本所防災館で地震や都市型水害、暴風雨などの体験を通じて、地震や水害に対する備えの重要性やゲリラ豪雨などでの水圧の強さなどを学びます。

いつ起こるかわからない災害に備えて色々な体験をすることで、いざという時の行動や知識を身につけ、その知識を災害時のボランティア活動に活かしてみませんか。

- 【日 時】 1 月 25 日 (金) 13:00~15:00
- 【場 所】 本所防災館 (横川 4-6-6)
- 【内 容】 地震体験・都市型水害体験 など
- 【定 員】 先着 30 名 (小学生以上)
- 【会 費】 無料 (現地までの往復の交通費は自己負担)
- 【申 込 み】 すみだボランティアセンター (3612-2940)

※事前申し込みのない方は参加できません。



[都市型水害体験]

コラム（平成最後の・・・）

今年の5月から新元号が始まることにともない、イベントになにかと「平成最後」というフレーズがついています。この正月も「平成最後」です。30年前の1989年1月8日から「平成」は始まりました。余談ですが、この年の元日に「朝日麦酒」が「アサヒビール」に社名を変え、あのアサヒビールタワーが完成しました。アサヒビールの新しい歴史の幕開けは、昭和最後の年だったのです。

平成という時代は、自然災害の活性期ともいわれています。平成7年から始まった清水寺で発表されるその年を表す漢字は「震」でした。「阪神・淡路大震災」のあった年で、1月17日に発生した震災直後、全国からボランティアが駆け付け、活動を行ったことから「ボランティア元年」と呼ばれています。そして「平成最後の今年の漢字」は「災」でした。かつて「新潟県中越地震」があった平成16年も「災」でした。地震大国日本、いつ起こるかわからない自然災害に備え、今一度防災について考えてみませんか。

新年ボランティア交流会 参加受付中！

定員に若干余裕がありますので、受付を延長いたします。
皆さまのご参加をお待ちしています。

【日時】1月12日（土） 10:30~12:30（受付10:00から）

【場所】曳舟文化センター2階 レクリエーションホール

【内容】「災害時の清潔・健康ケアに関するお話」（講師：ライオン株式会社）

炊き出し体験、非常食を使ってスイーツ作り、身近なもので便利グッズ作り

【参加費】500円（飲み物、お菓子、ステキなお土産付）

【申込み】すみだボランティアセンターまで TEL：3612-2940



交通のご案内

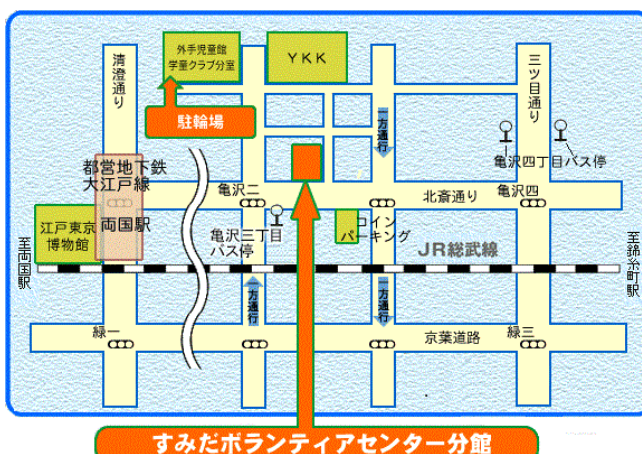


すみだボランティアセンターのご案内



駐車スペースが少ないため、徒歩か自転車での来所をお願いします。お車で来所の場合、近隣は道が狭いのでご注意ください。

すみだボランティアセンター分館のご案内



分館には駐輪場がありません。外手児童館学童クラブ分室の駐輪場をご利用ください。

駐輪場に関してご不明な点があればボランティアセンター分館までお問い合わせください。